

2026 業務案内

一般社団法人 広島県土木協会
Hiroshima Civil Engineering Association

■表紙の説明 蒲刈大橋（奥は下蒲刈島）
所在地： 呉市上蒲刈町向～呉市下蒲刈町三之瀬
完成： 昭和54年（供用開始）
橋長： 480.0m
上部工型式： 3径間連続下曲弦プラットラス橋
管理者： 呉市

ごあいさつ

本会は、戦後の国土再建や交通網の整備、災害の復旧防除を図るため、建設土木諸事業を円滑かつ強力に推進する総合的機関として、昭和27年に設立されました。

平成3年には、県内自治体の建設事業の円滑な執行支援と、良質な社会資本整備への貢献を目的として「財団法人広島県建設技術センター」が設置され、その後、平成22年4月に同センターの事業を当協会が継承し、設計・積算・工事管理等の技術支援および研修事業を引き継ぎ、新たな一歩を踏み出しました。

近年の全国的に頻発する豪雨災害や、施設の老朽化に伴うメンテナンス需要の急増に対し、市町における技術者不足は喫緊の課題となっています。こうした中、当協会は、公正・中立な立場で技術支援を行い、市町の建設行政を総合的に補完する「実務支援組織」としての役割をさらに強化しております。

今後とも、市町への技術支援事業の一層の充実を図り、地域の安全・安心を守るという社会的使命を果たしてまいります。皆様の変わらぬご支援・ご活用を心からお願い申し上げます。

令和8年6月

一般社団法人広島県土木協会

会長 平谷 祐宏

組織概要

名 称 一般社団法人 広島県土木協会
所在地 〒730-0017
広島市中区鉄砲町4番1号
広島県土地改良会館6階
沿 革 昭和27年3月25日 社団法人広島県土木協会設立
平成25年6月3日 一般社団法人広島県土木協会に移行
主業務 事業促進事業、研修事業、技術支援事業

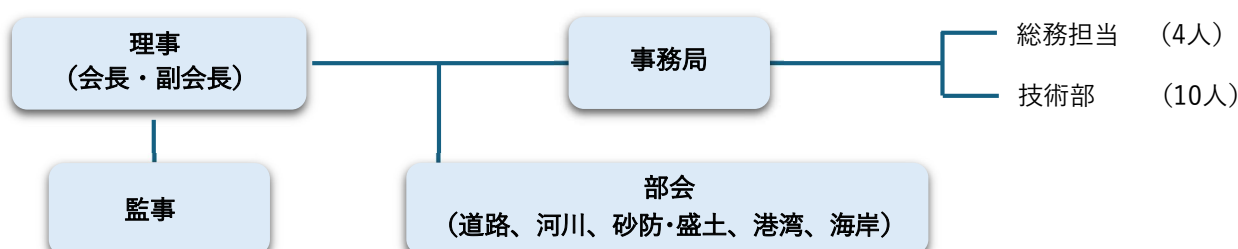
会 員

本会は、広島県内の23市町（全市町）をもって組織します。

市： 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市

町： 府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町

組 織



■ 理事 （令和 8 年 6 月 1 日現在）

役職	氏名	現職
会 長	平谷 祐宏	尾道市長
副会長	高垣 廣徳	東広島市長
副会長	福岡 誠志	三次市長
副会長	松本 太郎	廿日市市長
副会長	三村 裕史	熊野町長

■ 監事 （令和 8 年 6 月 1 日現在）

役職	氏名	現職
監 事	奥田 正和	世羅町長
監 事	橋本 博明	安芸太田町長
監 事	金本 善行	公認会計士

■ 部会 （令和 8 年 6 月 1 日現在）

部会名	部会長	副部会長
道路部会	東広島市長 高垣 廣徳	熊野町長 三村 裕史
河川部会	三次市長 福岡 誠志	
砂防・盛土部会	尾道市長 平谷 祐宏	世羅町長 奥田 正和
港湾部会	福山市長 枝広 直幹	
海岸部会		

■ 事務局

部署	グループ	担当業務
総務	総務グループ	理事会、総会及び役員に関すること 人事、庶務、経理、管理、運営に関すること
技術部	研修グループ	研修事業に関すること 災害復旧支援者登録制度に関すること
	技術支援グループ	支援事業に関すること 活動の広報に関すること

実施事業

事業促進 事業

市町の事業推進に向けた提言・要望を展開

国等に対し、地方の声を届け、建設事業の予算確保や推進について要望活動を行います。

研修事業

建設担当職員の技術力向上を支援

短期研修、長期派遣研修、OJTサポートを通じ、市町の次代を担う人材を育成します。

技術支援 事業

発注者事務を多角的にサポート

積算、工事管理、アセットマネジメント等、専門知識を備えた技術者が市町の実務を支援します。

事業促進事業



市町の建設事業及び災害事業等に関し、関係機関に対して事業の推進等の提言、要望活動を行っています。

令和8年度主要行事予定

開催月	主催者	行事	場所
4月	道全協 道全協	組織財務委員会・都道府県幹事会合同会議、 常任理事会、理事会	東京都 東京都
5月	中国地区港湾協議会 全国道路利用者会議 道全協 中国国道協会 全国防災協会 全国治水砂防協会 日本港湾協会 全国治水砂防協会 全国治水期成同盟会連合会	理事会及び意見交換会 定時総会・要望活動 総会、命と暮らしを守る道づくり全国大会 理事会、総会、意見交換会 定時総会 評議員会 定時総会 通常総会 通常総会	鳥取県 東京都 東京都 広島市 東京都 東京都 神奈川県 東京都 東京都
6月	日本河川協会 全国海岸協会	定時社員総会 定時総会	東京都 東京都
7月	道全協 広島県・広島市道路利用者会議	広報委員会・都道府県参与会合同会議 定期総会	東京都 広島県
8月	中国国道協会	中央要望	東京都
9月	道全協、全国道路利用者会議 道全協	令和9年度道路関係予算概算要求概要説明会 国民運動推進委員会	東京都 東京都
10月	道全協 山口県全国治水期成同盟会連合会 中国国道協会中国5県道全協地方協議会 中国地区港湾協議会 全国道路利用者会議 日本港湾協会 全国治水砂防協会	理事会 中国地方治水大会 中国地方道路整備促進総決起大会 中国地区港湾協議会意見交換会 全国大会 経済と暮らしを支える港づくり全国大会 中国地区支部長会議	東京都 山口県 東京都 東京都 東京都 香川県 東京都 山口県
11月	道路4団体 中国国道協会中国5県道全協地方協議会 全国防災協会 全国治水期成同盟会連合会 全国治水砂防協会	安全・安心の道づくりを求める全国大会等 国土交通省道路局幹部との意見交換会 災害復旧促進全国大会 治水事業促進全国大会 全国治水砂防促進大会	東京都 東京都 東京都 東京都 東京都
1月	道全協、全国道路利用者会議	令和9年度道路関係予算概要説明会	東京都

研修事業



■ 市町建設事業担当職員（短期）研修事業

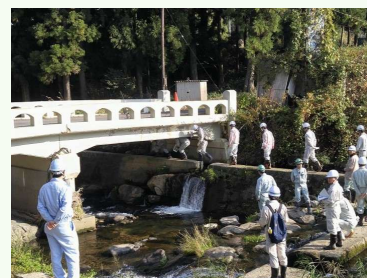
市町の土木関係職員に対する研修を開催し、技術力の向上と人材育成をサポートします。

令和8年度市町建設事業等担当職員研修計画

研修区分	研修名	予定人数	日程
初級	初級講座（初期）オンデマンド方式	—	4～6月
初級	災害復旧講座 ※県と合同開催	50名	5月26日
初級	積算システム操作研修	50名	6月17～18日
初級	初級講座（後期）	50名	6月22日～24日
初中級	道路計画・設計講座 ※県と合同開催	30名	7月29日
中級	工事検査講座	50名	8月27日
中級	土質講座 ※県と合同開催	50名	9月上旬
初中級	ブロック研修（セメント講座） ※県と合同開催	50名	9月下旬
初中級	測量実習（2会場）	30名	10月上旬
中級	いまさら聞けない質疑応答講座	50名	12月上旬
初中級	出張研修（個別）	50名	随時
初級	OJTサポート研修 オンデマンド形式	—	随時
その他	現場見学会	50名	随時



道路計画・設計講座



橋梁補修講座



災害復旧講座(基礎編)



いまさら聞けない質疑応答講座
（座談会形式）

■ 市町建設事業担当職員（長期）研修事業

2年以内の長期研修事業として、基礎研修から業務の実務経験を通じて実践力のある職員を養成するため、市町職員の受入れを行っています。

○主な実績（平成22年～令和8年度）

熊野町、大崎上島町、廿日市市、東広島市、安芸高田市、尾道市、安芸太田町

技術支援事業 ～受託事業～

■ 積算技術支援、工事監督支援

発注用設計書及び仕様書の作成を行うことにより、発注事務の支援を行います。
施工計画書や工事打合せ簿の審査・助言及び段階確認等を実施します。工事中情報共有システムを利用することでより効果的な支援が期待できます。



橋梁補修工事[戸河内橋](安芸太田町)
積算技術支援



耐震補修工事[土井跨道橋](安芸高田市)
積算技術支援、工事監督支援



橋梁補修工事[高野橋](世羅町)
積算技術支援



災害復旧工事[沖北川1号橋](呉市)
積算技術支援、工事監督支援



耐震性貯水槽設置工事(東広島市)
積算技術支援、工事監督支援



明現配水池築造工事[造成](尾道市)
積算技術支援

■ アセットマネジメント支援業務

市町道路施設の「長寿命化修繕計画」を策定します。
橋梁に関しては、点検・診断の調査管理から、維持管理基本計画の策定、学識経験者協議、情報公開用資料の作成まで、計画策定に係る一連の業務をトータルでサポートします。



学識経験者との協議



対象橋梁の現地確認

■ 工事検査補助業務

市町が発注している建設工事について、中間検査や完成検査等の施工状況の確認や評価に関する助言を行います。
市町の検査業務に関する技術力の向上に資するとともに、公共工事の品質確保や、年度末の検査件数ピーク時の検査官の負担軽減を図ります。

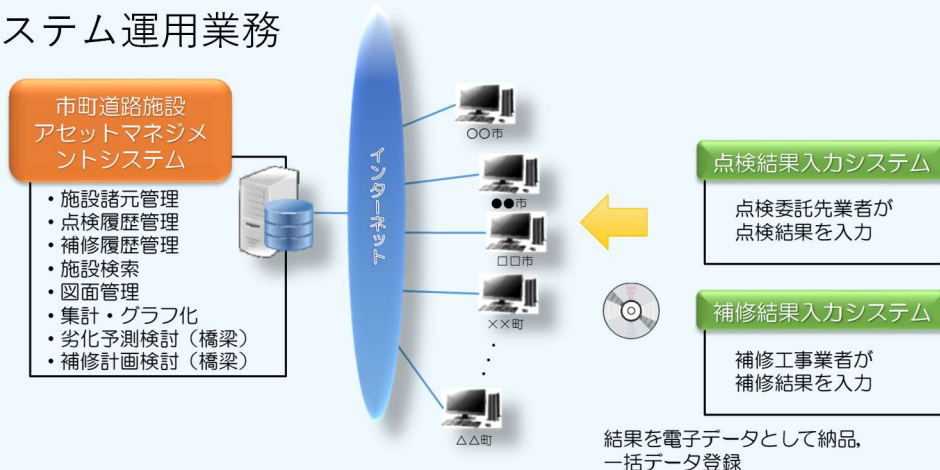
- ・ 施工体制や施工管理などの必要な書類や出来形、及び品質確保に関する書類を確認
- ・ 現地等で出来形や出来栄を確認、考査項目別の評価及び評定点の提案

技術支援事業 ～システム運用事業～

■アセットマネジメントシステム運用業務

市町管理の道路施設（橋梁、横断歩道橋、トンネル、大型カルバート、門型標識等）を対象に、諸元・点検結果・修繕履歴の蓄積、劣化予測等に係るアセットマネジメントシステムを構築し、長寿命化修繕計画の策定を効率化します。

担当者によるデータの閲覧・印刷はもちろん、国等への提出資料作成を効率的に行えるシステムです。

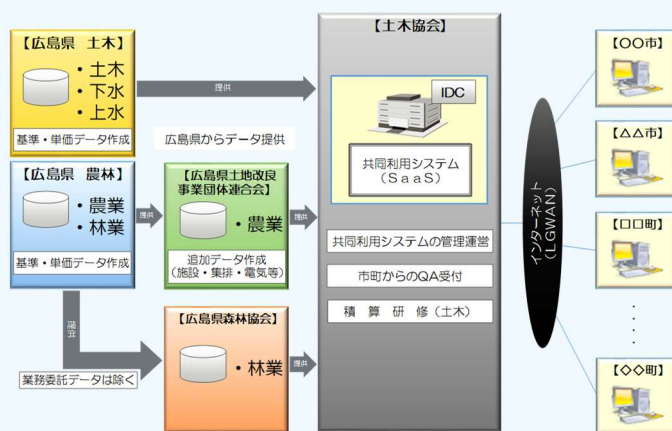


■積算システム運用業務

積算事務の円滑で効率的な執行を図るため、土木設計積算システムに係る基準データの提供を行います。

また、積算に係るトータルコストの削減と県市町の垂直補完・水平補完を容易にすることを目的とし、積算システム市町共同利用サービスを提供します。

導入効果はコスト削減のほか、災害発生時、県や市町からの応援職員は、PCとネットワーク環境があれば、ID・パスワードの入力だけですぐに同システムを利用できます。また、土木協会等に委託して作成された設計書をそのまま活用できるため、変更設計書の作成や、それを再利用した新しい設計書の作成がスムーズに行えます。

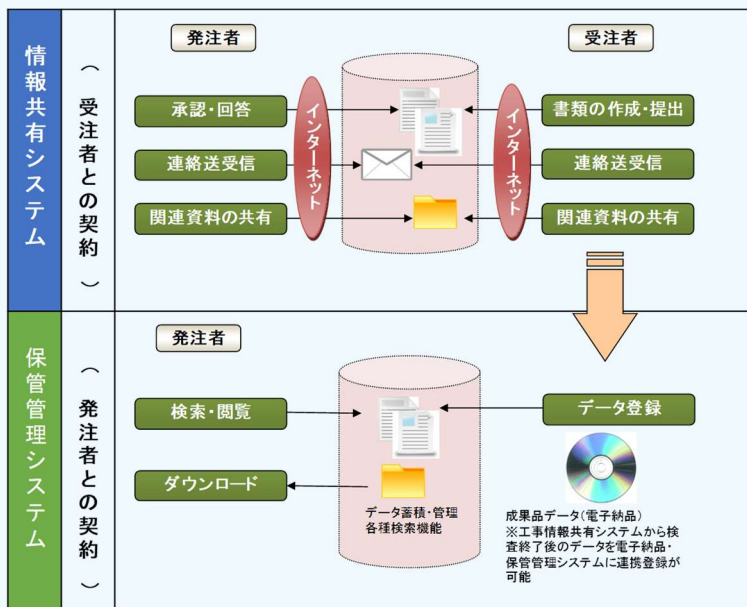


■工事中情報共有システム運用業務

工事中情報共有システムは、インターネットを利用して、受発注者間で工事施工、業務履行中に関する様々な情報を共有し相互利活用することで、受発注者の業務執行の効率化、コスト縮減及び品質の向上に資するシステムです。共同利用することで運用管理や保管管理のコスト削減を図ります。

～期待する効果～

- ・資料の保管・管理作業の効率化
- ・協議、確認、伝達等の時間を短縮
- ・移動の経費削減
- ・ペーパーレスによる経費削減
- ・省スペース化によるスペースの削減
- ・工事情報の一元管理



■建設副産物等処理費比較システム提供業務

建設工事の積算時において、建設副産物の受け入れ施設を「正確」かつ「効率的に」選定するシステムを提供します。

地図上で工事現場をクリックするだけで、最適な処分地を自動判定し、WEB地図により、工事現場から各施設への経路・距離を自動取得し、運搬費と処分費の合計を瞬時に算出し、最安施設を判定します。

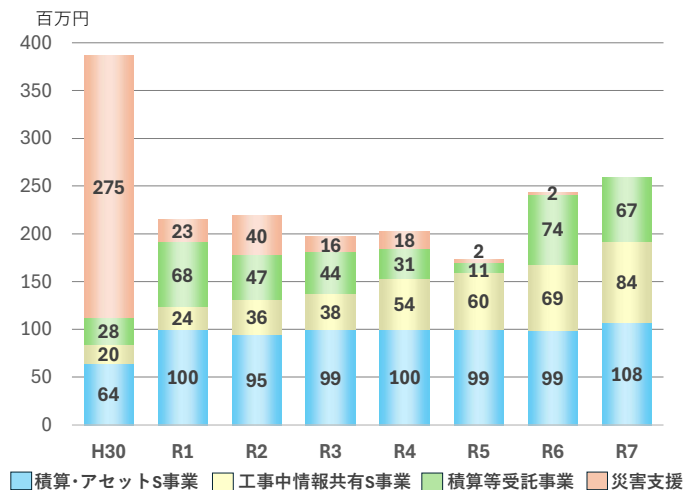
当協会では、建設技術に係る各種相談にお応えします。
お気軽にお問い合わせください。

- ★ 土木技術職員が不足している、人手が足りない
- ★ 災害復旧箇所が多く、迅速な対応が難しい
- ★ 高度な技術・特殊・専門知識が必要なとき
- ★ 経験のない事業や工事があるとき
- ★ こんな研修を実施してほしい・・・

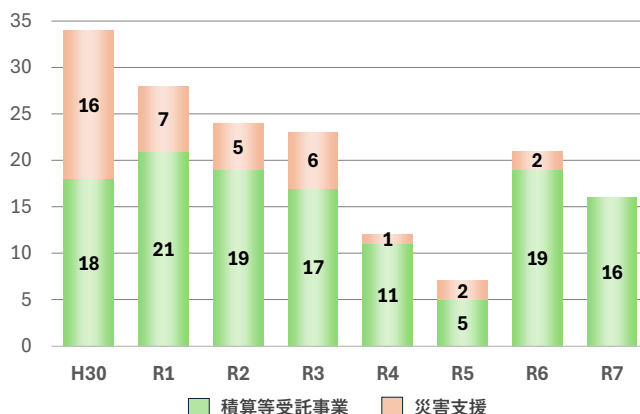


実績推移

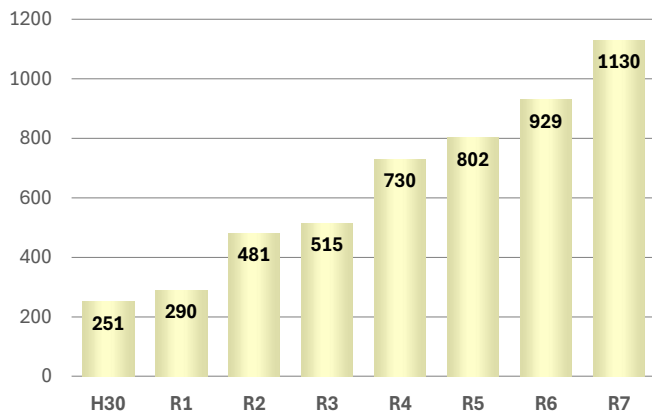
● 事業別収益（税込）



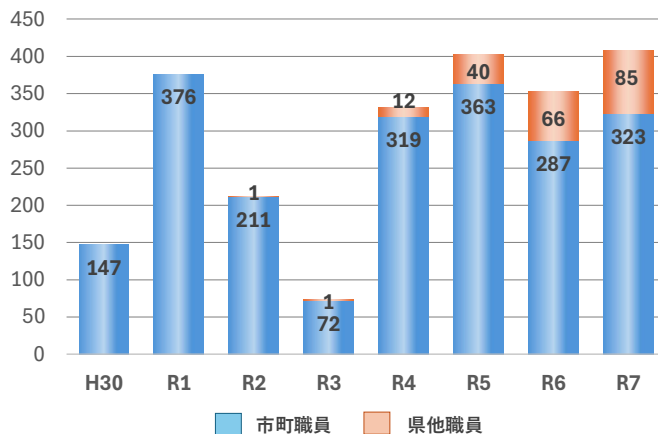
● 積算等、災害支援受注件数



● 工事中情報共有システム利用件数



● 研修参加者数



一般社団法人 広島県土木協会

所在地 〒730-0017

広島市中区鉄砲町4番1号
広島県土地改良会館6階

TEL 082-554-1655

FAX 082-554-1657

Mail 総務 h-kyokai@hdobokuk.or.jp
技術部 gijyutsu@hdobokuk.or.jp

HP <https://www.hdobokuk.or.jp/>

